

～はなのえん～ 花宴

筆（やまぶき入居者：薬師寺とめ子様）



“笑顔”を
大切に

特別養護老人ホーム山科積慶園
ユニットリーダー 山本元子

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 古村正哉

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第11号 発行日平成25年4月1日（春号）



皆さんの健康
を支えたい

特別養護老人ホーム山科積慶園
看護師 上坂智子

こんにちは。2F「やまぶき」ユニットの山本です。
昨年11月より、ユニットリーダーとして従事しております。

まだまだ未熟な私であり、さらにリーダーという慣れないことに戸惑いや不安はありますが、周りのスタッフに支えられながら、日々楽しく従事することが出来ております。

さて、ここ山科積慶園も5回目の春を迎えました。
入所されている皆様の笑顔も“さくら”の花のようにふんわりと優しくなっているように見えます。

そういう“笑顔”こそ、私ども「やまぶき」ユニットが大事にしていきたいと思っていますところなんです。

お一人お一人に様々な悩み・不安・希望があります。
そういったニーズに対して、私達は1つ1つを大切に、寄り添い、共に理解し合っていけるよう、スタッフ全員で取り組んでいます。

日々の小さな気付きを見逃さず、皆様にとってここが心安らぐ場所となるように、そしていつも温かく優しい笑顔が溢れるユニットにしていきたいと思えます。



平成20年、山科積慶園が開所した時から勤めている、看護師の上坂です。

病院で働いていましたが、平成12年介護保険制度が始まった時に、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取り、2年余り、居宅介護支援を行っていました。その後、デイサービスでも働いています。

病院・居宅介護支援・デイサービスなどでの経験を生かして、「特別養護老人ホーム山科積慶園」を生活の場として選ばれた方々の、健康面を支えたいという思いでいます。

嘱託医による往診（週に2回・2時間）という環境の中で、高齢の方の健康管理を行うことは、毎日が緊張です。

看護師が施設内にいない時間帯は、電話連絡で状態を把握することになりますが、普段の状態を知っていることが、まず重要です。

介護職員とともに、「いつもと違う」様子に気づくことができ、適切に対応することができているか、自問自答の日々です。

それでも、いろいろと話を聞かせていただきその方の人生に感動したり、笑顔に出会えたりします。

人生の先輩方から、たくさんの事を、教えていただきました。ありがとうございます。

そして、これからもよろしくお願いします。



♥各階レクリエーション紹介♥

2F 《嵐山紅葉レクリエーション》 紅葉の時期のはずなのに、「寒い〜っ」ちょっと人が多くて混雑気味でしたが、なんとか渡月橋をバックに写真を撮りました。お昼ご飯が入居者様に好評でした。(山本)



(嵐山紅葉レクリエーション)

3F 《ラーメンレクリエーション》 入居者様が「おいしいラーメンを食べたい。」との希望があり、はぎ・なでしこユニット(計4名)でラーメン「天」に行きました! 皆さん美味しいと言っておられました。(簗田)



(ラーメンレクリエーション)



(ピザパーティー)

4F 《ピザパーティー》 4Fユニット合同でピザパーティーをしました。Lサイズのピザをペロリと半分近く食べられる方もおられ、職員もビックリしました。皆さん、大好物かも?! (大屋)



(誕生日会)

5F 《誕生日会》 1月に誕生日が同じ入居者様お二人のお誕生日祝いとしてあやめユニットのみなさんでプリンを一緒に食べました。お祝いさせて頂いた方のうち1名はなんと、100歳でした。(黒川)

医務室だよ!~

第11回「水虫(白癬菌)」



白癬菌は、通気性が悪く高温多湿な環境で繁殖しやすく、水虫に感染している人の使ったマットやスリッパに触れることで、水虫に感染する場合があります。白癬菌が足に付着する機会は常にあります。

- ・足をいつも清潔にする…白癬菌は24時間以内であれば、洗い流すことで死滅します。足を清潔に保ち、靴下を毎日履き替える事や足の手入れをこまめにしましょう。
- ・足をよく乾燥させる…白癬菌は温かく湿った環境を好むので、よく乾燥させておきましょう。
- ・複数の靴を履きまわす…窮屈な靴は避け、通気性の良い靴を選び、何足かを交互に履くようにし、靴は時々陰干しして、湿気を除いておきましょう。
- ・家族間での感染を防ぐ…白癬菌に感染している人の皮膚が剥げ落ち、そこから菌が増すのでために掃除をして、部屋のゴミ、ホコリを排除しましょう。

その為にも、生活環境を改善するこまめな掃除や靴の選び方など、とくに、足の洗浄は大切です。ゴシゴシこすらず、指の間まで丁寧に洗いましょう。薬を使う患部よりも広く薄く塗りましょう。入浴後が効果的です。治療は気長に行う白癬菌は、皮膚の奥深くに入り込むため完治に時間がかかります。症状が改善したと思って治療を止めてしまうと、すぐに再発してしまふことがあります。治療、再発を繰り返すことで慢性化してしまうことがあるので、症状が消えてもその後1カ月は治療を続けることが、再発を防ぐコツです。

『まぐろの解体ショーとまぐろのにぎり寿司食べ放題（山科積慶園4周年記念行事）』



開設記念行事として恒例となっている、まぐろの解体ショー。
さすがに今年は44kgのまぐろを用意！！という訳にはいきませんでした、
今年も昨年同様に33kgの大きなまぐろを解体していただきました。
今年はまぐろと写真撮影をされる方が多く、見て驚かれ、食べて笑みがこぼれ、素晴らしい行事となりました。（山田）



『もちつき大会』

寒く雪がしぐれる中、お餅つきをしました。

おやつうる餅、今年は餅米の蒸しが柔らかく仕上がり丸めるのに一苦労でしたが、入居者様には「おいしいー」と大好評でした。そして、餅粉で真っ白になりながら一生懸命作った鏡餅は、玄関はじめユニット内にも入居者の方たちが飾りましたよ。（佐藤）



『クリスマス会』



12月22日クリスマス会（ビンゴ大会）を開催しました。

入居者様にクリスマスの思い出をビンゴのマスに書いていただき、当日は入居者様がビンゴボールを引き、そしてビンゴのドキドキ感を味わっていただきました。

サンタさんからプレゼント貰え、とても喜んでおられる様子でした。最後に『きよしこの夜』をみんなで大合唱！
笑顔の絶えないクリスマス会でした。（高橋）

